

成績評価基準および GPA について

(成績評価基準)

1. 履修した授業科目の成績の評価は、試験・提出課題・出席状況等を総合し各授業科目の担当者が評価する。
2. 成績評価基準、および成績証明書等の成績の表記は、下表のとおりとする。

成績評価基準と GPA

判定	評価点	成績証明書表記	GP (Grade Point)		成績評価内容
合格	100 - 90 点	S	S	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている
	89 - 80 点	A	A	3	到達目標を十分に達成している
	79 - 70 点	B	B	2	到達目標を達成している
	69 - 60 点	C	C	1	到達目標を最低限達成している
不合格	60 点未満	表示せず	D	0	到達目標を達成していない
認定	-	認定	-	-	単位認定した評価 ※GPA の対象としない

GPA (Grade Point Average、グレード・ポイント・アベレージ) は、各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のことです。

まず、各科目の 6 段階評価を、以下のように換算し合計します。

- S (100 - 90 点) 4
- A (89 - 80 点) 3
- B (79 - 70 点) 2
- C (69 - 60 点) 1
- D (60 点未満) 0

それに各単位数を掛けて足した合計点を総単位数 (履修登録単位の総数) で割ってスコア化するものです。この場合、オール S なら 4.00、オール F なら 0.00 となります。

具体的な事例で説明します。下記の6科目で下記のような評価を得た場合、

人間関係学	2単位	S
生理学	2単位	A
情報処理	1単位	S
自然科学概論	1単位	C
生理学実習	1単位	D
心理学	2単位	B

$$\frac{2 \times 4 + 2 \times 3 + 1 \times 4 + 1 \times 1 + 1 \times 0 + 2 \times 2}{2 + 2 + 1 + 1 + 1 + 2} = 2.55$$

これによって、履修した科目数に左右されずに、S、A、B、C、D、といった5段階評価では計れない、成績の評価が可能となります。

なお、平均点との違いは、平均点が科目の単位数に関係ないのに対して、GPAは科目の単位数を考慮して計算されることです。